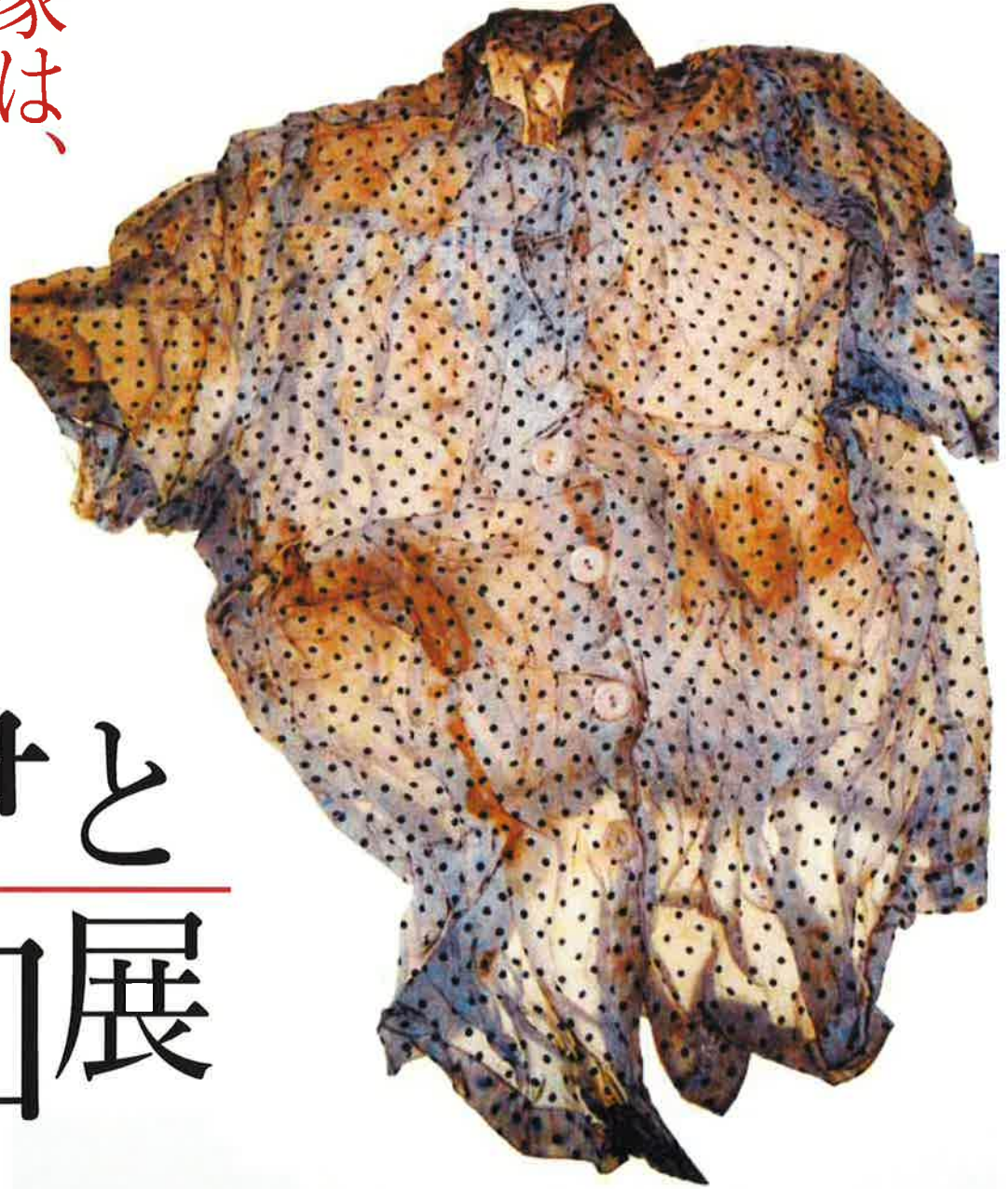


芸術家は、
いかに戦争と
向き合ってきたのか



広島・長崎 被爆70周年

戦争と 平和展

平成27年7月25日(土)―9月13日(日)
(2015年)

石内郡「ひろしま#69」2007年 テルモ株式会社蔵 Donor: Abe, H. ©Ishuchi Miyako

開館時間: 午前9時～午後5時 会期中無休

※金曜日は午後8時まで開館 ※入館は閉館の30分前まで ※7月25日(土)は10時開場

入館料: 一般800円(600円)、高・大学生400円(300円)、中学生以下 無料

※()内は前売・20名以上の団体料金 ※学生券をお求めの際は学生証のご提示をお願いします。

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳及び戦傷病者手帳の所持者と介助者(1名まで)の当日料金は半額です。

前売券発売所: 広島県立美術館、広島市・呉市内の主なプレイガイド、画廊・画材店、ゆめタウン、フジ、中国新聞社読者広報部、中国新聞各販売所(取り寄せ)など

主催: 広島・長崎県美術館平和発信事業実行委員会(広島県立美術館、長崎県美術館、広島平和記念資料館、長崎原爆資料館、広島県原爆被害者団体協議会・被爆を語り継ぐ会、長崎原爆被災者協議会・被爆を語り継ぐ会、広島芸術学会、ひろしま文化振興財団)、中国新聞社

後援: NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、エフエムふくやま、尾道エフエム放送、FMはつかいち76.1MHz、FM東広島89.7MHz

協力: 公益社団法人 日本写真家協会



名勝「縮景園」とともに歩む アートの杜
広島県立美術館

Hiroshima Prefectural Art Museum

〒730-0014 広島市中区上鞆町2-22
Tel.082-221-6246 Fax.082-223-1444
<http://www.hpam.jp/>



広島・長崎 被爆70周年

戦争と 平和展

(2015年)

平成27年7月25日(土)
—9月13日(日)



浜田知明《初年兵哀歌(歩哨)》
1954年 姫路市立美術館蔵

芸術家は、いかに戦争と向き合ってきたのか

被爆70周年を迎える2015年、広島・長崎の両県立美術館が協働し、両館のコレクションと国内の美術館・大学等の所蔵品を通じて、戦争の惨禍と、その対極にある恒久平和への希求を照らし出す展覧会を開催します。

戦争を大規模化・総力戦化し、近代戦争へと変容させた19世紀のナポレオン戦争を始まりとして、20世紀の2つの世界大戦に関連する作品を取り上げ、美術は戦争をどのように描いたのか、芸術家たちはいかなる立場から創造し、変容していったのか、そして、広島と長崎の悲劇と祈りはどのように表象され続けてきたか、展示替作品を含む約200点により、その歩みを紹介します。



東松照明《爆風により崩壊した浦上天堂の天使像》
1961年 長崎美術館蔵
©Shomei Tomatsu-Interface



テオドール・ジュリコー《突撃するナポレオン軍の将軍》
1810年頃 東京富士美術館蔵
©東京富士美術館イメージアークイブ/DNPartcom



ケーテ・コルヴィッツ《カール・リーブクネヒト追悼》
1919年 国立西洋美術館蔵



オットー・ディックス《戦争》毒ガスを使って前進する突撃隊》1923-24年 町田市立国際版画美術館蔵
©VC BILD-KUNST,Bonn & JASPAR,Tokyo,2015
C0604



福井芳郎《ヒロシマ原爆(産業奨励館1947)》
1947年 広島平和記念資料館蔵



フランシスコ・デ・ゴヤ《戦争の惨禍(2) 理由があるとなかろうと》1810-20年 長崎県美術館蔵
※後期(8月17日~9月13日)に展示

【イベント情報】

会場:地下講堂 ※無料、事前申込不要(定員:先着200名)※30分前から受付開始

被爆手記朗読劇「夏の雲は忘れない」

7月25日(土)15:00~16:15

公演:夏の会(主演:高田敏江/長内美那子/中村たつ/岩本多代/寺田路恵/灘辺美佐子)

記念講演会「描かれた戦争:ナポレオン時代を中心として」

7月26日(日)13:30~15:00

講師:千足伸行(広島県立美術館長)

シンポジウム「戦争画と『原爆の図』をめぐって-その政治性と芸術性の問題-」

8月1日(土)14:30~16:30

講師:平瀬礼太(美術史家)、岡村幸宜(原爆の図丸本美術館学芸員)、大井健地(広島市立大学名誉教授)、西原大輔(広島大学大学院教授)

司会:谷藤史彦(ふくやま美術館学芸課長)

共催:広島芸術学会

記念講演会「戦争の世紀」と葛藤する美術-二つの世界大戦とその狭間で」

8月2日(日)13:30~15:00

講師:河本真理(本展学術協力者、日本女子大学教授)

共催:広島県立美術館友の会

特別セミナー「戦時中のファッションを考える」

8月16日(日)13:30~15:00

講師:津島由里子(安田女子大学非常勤講師)

協力:石田あさきトータルファッション専門学校

シンポジウム「現代戦争の表象-絵画/写真/文学が交差する戦場」

8月23日(日)13:30~16:30

講師:河本真理(本展学術協力者、日本女子大学教授)、飛嶋隆信(東京農工大学大学院准教授)、久保昭博(関西学院大学准教授)、山下寿水(本展担当学芸員)

美術講座「国内外の展覧会から見る美術と戦争」

9月5日(土)13:30~14:30

講師:山下寿水(本展担当学芸員)

会場:地下講堂 ※対象:中学生以下 ※無料、事前申込制(定員:先着35名)

キッズゲルニカ・ワークショップ

平和への想いを伝える大きな絵画をみんなで作ります。

8月10日(月)10:00~16:00

参加希望者は事前に当館(082-221-6246)へ電話予約をお願いします。

昼食は各自でお持ちください。(館内でのご飲食はご遠慮下さい。)

講師:加藤宇章(アリエバ代表)

共催:広島芸術学会

会場:1階ロビー ※無料、事前申込不要

被爆体験継承講話「平和の語り部」

8月7日(金)、8月21日(金)、9月4日(金) 各日11:00~

講師:被爆を語り継ぐ会

会場:2階展示室 ※事前申込不要、入館券が必要です。直接、会場入口にお集まりください。

ギャラリートーク

担当学芸員が展示室内で作品解説をします。

7月31日(金)、8月14日(金)、8月28日(金)、9月11日(金) 各日11:00~

会場:2階展示室(受付:2階ロビー)

※対象:ホームページ、ブログ、ツイッター、フェイスブックなどで情報発信をされている一般の方

※事前申込不要、実施当日に限り、本展へご招待

ウェブ・レポーター大募集

インターネットを通じ、本展の感想を情報発信していただきます。

7月31日(金)17:00~19:30

【同時開催】

「生誕80周年記念 藤子・F・不二雄展」

期間:7月18日(土)~9月6日(日)

会場:3階企画展示室

HPAMコレクション展「日本とアジアの工芸作品-つながる心 平和の礎」

期間:7月4日(土)~9月27日(日)

会場:2階第4展示室

入館料:一般800円(600円)、高・大学生400円(300円)、中学生以下無料

※前売券発売所:広島県立美術館、広島市・呉市内の主なプレイガイド、画廊・画材店、ゆめタウン、フジ、中国新聞社読者広報部、中国新聞各販売所(取り寄せ)など

※()内は前売・20名以上の団体料金 ※学生券をお求めの際は学生証のご提示をお願いします。

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳及び戦傷病者手帳の所持者と介助者(1名まで)の当日料金は半額です。



交通 JR広島駅より約1km・広島城より約400m

市内電車「八丁堀」で乗り換え白鳥線で「縮景園前」下車約20m

ひろしまめいぶる〜ぷバス(市内循環バス、JR広島駅新幹線口のりば発着)「広島県立美術館前」下車



名勝「縮景園」とともに歩む アートの杜

広島県立美術館

Hiroshima Prefectural Art Museum



〒730-0014 広島市中区上櫓町 2-22 Tel.082-221-6246 Fax.082-223-1444 http://www.hpam.jp/